

まつり かい き ねん
せともの祭 80回記念

こども陶芸展も80回目～今年はパーティせとで展示～

多くの皆さんが毎年楽しみにしている「せともの祭」は昭和7年に始まり、今年で80回目を迎えます。瀬戸の小中学校では、毎年各学校の授業で陶芸体験を行い、せともの祭会場に子どもたち作品を飾ってきました。実はその「こども陶芸展」も今年で80回目を迎えます。

今回のキッズ特集は、こども陶芸展に向けて行われた水南小学校2年生の美術の授業「粘土でつくる」を紹介しします。やきもののまちならではの取り組みです。

水南小学校 粘土でつくる

子どもたちは、「のばして」「まげて」「のばして」「まげて」とかけ声をかけながら粘土を練っています。「先生できてきた。」「四角になっちゃう。」と子どもたちの声が教室に響きます。



水南小学校では、「たたら」という技法で、粘土を板に伸ばして形を作っていきます。子どもたちは助け合いながら、板に伸ばした粘土の中に、まるめた新聞紙を入れて胴体を作ります。



顔をつくる時間になると、子どもたちの目がキラキラしてきます。自分たちの腕の見せどころです。「残った粘土全部使っていいの?」「耳とかの部分はとっておこう。」など子どもたち同士で考えながら、愛らしい顔を作っていきます。「動物によって目を付ける位置が違うので、よく考えましょう。」と先生からのアドバイスがあり、子どもたちは、顔の正面か、横に目を付けるのかを考えながら、力強い目を作っていきます。馬、ペンギン、ぞう、オオサンショウウオ、キツネ、うさぎ、アヒルなどいろいろな動物ができてあがりました。

瀬戸蔵ミュージアムで「せともの祭」を振り返る企画展

なんと大阪市でも「せともの祭」が開催されています。場所は、大阪市の火防陶器神社。陶器商人たちが江戸時代に始めた歴史のある祭で今年7月21日～24日まで開催されました。端物や見本品の廉売市が開かれ、明治時代から現代のせともの人形が飾られて例年多くの人出で賑わうそうです。

第1回せともの祭の経緯について「大瀬戸」新聞(1980年8月2日付)には、大阪から来たアイスクリーム売りが大阪のせともの祭を瀬戸でも行うことを勧め、このお祭を参考にして始まったと書かれています。

ミュージアムでは、第1回のせともの祭の様子や、昭和10年～40年代のせともの人形絵はがき、昭和30年代のせともの祭ポスターなどの懐かしい資料が展示してあります。

展示期間 **9/11日** まで 午前9時～午後6時(入館:午後5時30分まで)、休館日 8/22(月)

入館料/一般500円、65歳以上・高大生300円、中学生以下・妊婦・心身障害者は無料

問い合わせ先/瀬戸蔵ミュージアム ☎97・1190



昭和34年せともの祭ポスター

おしらせ

第80回せともの祭

9/10(土)・11(日)

こども陶芸展

午前9時～午後5時



市内小中学生の代表作品を展示する「こども陶芸展」は、パーティせと4階マルチメディアルームで開催します。ぜひお楽しみください。
※せともの祭全体のイベント内容は次号の広報9月1日号に掲載します。

問い合わせ先/瀬戸商工会議所 ☎82・3123